



食べものに、  
もったいないを、  
もういちど。  
NO-FOODLOSS PROJECT

# 令和4年度 消費者啓発に取り組む 小売・外食事業者の取組事例集

農林水産省

外食・食文化課

食品ロス・リサイクル対策室



【てまえどり】: [https://www.sej.co.jp/library/contents/csr/news/pdf/20210609\\_foodloss.pdf](https://www.sej.co.jp/library/contents/csr/news/pdf/20210609_foodloss.pdf)

【特設サイト】[https://www.7andi.com/sustainability/g\\_challenge/project/mottainai2022/index.html?intpr=Sustainability\\_TOP\\_mottainai2022](https://www.7andi.com/sustainability/g_challenge/project/mottainai2022/index.html?intpr=Sustainability_TOP_mottainai2022)

【mottECO (モtteコ)】: <https://www.dennys.jp/service/motteco/>

## <店舗で行っている食品ロス削減の取組>

- 【てまえどり】省庁と連携し、「すぐ食べるなら、手前をえらぶ」をメッセージに、お客様とともに食品ロス削減を目指す
- 【特設サイト】食品ロス削減月間、3R推進月間に合わせて「もったいないをなくそうチャレンジ！」特設サイトを開設
- 【mottECO (モtteコ)】お客様の食べ残し起因による食品ロス削減を目指し、専用容器によるお持ち帰りを推進
- 【賢者のレシピ】食材の使い切りなど食品ロス削減の推進を目的としたレシピを毎月発信

## <お客様/従業員の反応>

- 【お客様】てまえから取るという普段の小さな選択と行動が、食品ロス削減に繋がることを実感した
- 【お客様】食べ残しを持ち帰ることに少し恥ずかしい気持ちがあったが、環境に良いことをしていると自信を持てるようになった
- 【従業員】食品ロス削減の行動が身近にあることを再認識した。お客様とともに課題解決に取り組んでいきたい



[お問い合わせ先]

サステナビリティ推進部(03-6238-2448)





## ＜店舗で行っている食品ロス削減の取組み＞

### 食品廃棄物を2025年度までに2015年度比で32%削減する目標

#### ○店舗での食品ロス削減の啓発

10月1日～31日まで、北海道内のGMS、SM・DS122店舗で「てまえどり」のPOPやポスターを売り場の各所に掲示し、来店されるお客さまへ食品ロス削減の呼びかけを実施。

※GMS:総合スーパー SM:食品スーパー DS:ディスカウントストア  
(2022年9月末日現在)

#### ○その他の食品ロス削減の取組

- 発注精度・製造計画精度の向上
- 適正な在庫管理の実施
- 店内加工技術や商品化技術の向上
- 真空パック包装機の導入推進
- MAP包装(ガス置換包装)した商品の導入
- 賞味期限を年月日から年月へ変更 等

## ＜お客様/従業員の反応＞

- 「てまえどり」や「食品ロス削減」を呼びかけて持続可能な社会を目指します。(従業員)

[お問い合わせ先]

経営管理統括部 環境・社会貢献・広報・IR部(011-865-9111)

# 株式会社ベルジョイス（東北エリア）



食べものに、  
もったいないを、  
もういちど。  
NO-FOODLOSS PROJECT



## ＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 10月の『食品ロス削減月間』に合わせ、「てまえどり」の取組を開始しました。
- 牛乳・ヨーグルト・豆腐・納豆・チルド麺などデイリー商品の陳列棚にA4ポスターやアテンションPOPを設置し、お客様へ協力を呼び掛けています。
- 天候・気温、曜日などの与件を考慮しながら発注精度の向上に努め、食品ロス削減に取り組めます。

## ＜従業員の反応＞

- 食品ロス削減に取り組むために、まずは自分たちが食品ロスについて理解をすることから始めています。

## ＜その他の取組＞

- フードバンクへ提供するための食品回収ポストの設置店舗をさらに拡げていきます。



【お問い合わせ先】

株式会社ベルジョイス 経営計画室（019-623-6245）





## <店舗で行っている食品ロス削減の取組>

- 農林水産省、環境省、消費者庁による啓発ポスター「てまえどり」を全31店舗に掲示し、お客様に「てまえどり」を呼びかけご理解をいただけるよう努めています。10月の食品ロス削減月間においては、同省庁の食品ロス削減アンバサダー啓発ポスターを掲示しています。
- 生鮮食品、デリカ食品においては、「食べきりサイズ」の小分け商品の充実により、食品ロス削減を目指しています。
- 「ちょうどいいがいちばんおいしい」「楽しくエコクッキング」と、使いっきり野菜コーナーで食品ロス削減を推進しています。

## <お客様/従業員の反応>

- 従業員の食品ロスに対する意識付けが醸成された。
- 食品ロスを減らす工夫を考えるように従業員の意識の変化につながっている。
- 「食べきりサイズ」により食品ロスに対する意識付けをしており、特に単身者、少人数家族からは好評をいただいております。

[お問い合わせ先]

株式会社オータニ 管理部(028-661-4011)



## ＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- ① 「てまえどり」「小分け食品の活用」を啓発するPOPを店舗に掲示
- ② 金沢市と連携した取り組み（2022.10 コープたまぼこ実施）  
買い物客を対象とした店頭イベントを市民・事業者・行政が連携して実施し、環境にやさしい買い物の普及啓発を図る。
- ③ アウトレットコーナーの設置
- ④ フードドライブの実施

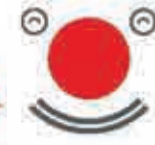
## ＜お客様/従業員の反応＞

- 食品ロスを無くす為の取り組みでは、アウトレットコーナーなど一か所に集めてあるので分かりやすいです。
- フードドライブは今後も継続して取り組んでいきたいです。

【お問い合わせ先】

総合企画部(076-275-9854)





## ＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 各店店舗掲示板にて、「てまえどり」の啓発ポスターを掲示し、お客様に呼びかけています。
- 果物売り場にて、食べ頃の果物をカットしてお値頃価格で販売しています。

## ＜お客様/従業員の反応＞

- 「てまえどり」のポスターを掲示することで、棚の奥から商品を取って行かれるお客様への「前から取っていこう！」との啓発に繋がっている。
- 食べ頃の果物をカットしてお値頃価格で販売することで、商品を廃棄すること無く、売り切りに繋がっている。また、「食べ頃」の果物ということで、お客様も家庭で即食べられることができ、家庭でのロス削減にも繋がっている。

[お問い合わせ先]

株式会社サンヨネ 本部(0532-66-1734)



## <店舗で行っている食品ロス削減の取組>

- 農林水産省、環境省、消費者庁による「てまえどり」運動に関連して、麺類などのチルド日配品、デザート商品、ハム・ソーセージ加工品売場にてPOPを掲示し、お客様へのご協力を呼びかけております。
- 売場に賞味期限間近の商品を集めた「フードレスキュー」コーナーを設置し、食品ロスに対する啓発と、商品購入への促しを実施しております。
- 消費期限間近の商品について、早めの少額値引きを行い、商品販売の促進に努めております。
- 近隣エリアに多店舗展開している「ドミナント戦略」を生かして、適切な温度帯での店舗間の商品移動を行う事で、会社全体での食品ロス低減に取り組んでおります。

## <お客様/従業員の反応>

- 食品ロスに対する従業員の意識の向上、特に商品廃棄に対する意識向上につながっています。
- 京都市内の小売業者の連携による「てまえどり」運動の促進により、お客様の食品ロスに対する意識の変化につながっています。

[お問い合わせ先]

販売企画部(075-468-9171)





## ＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 店舗でお買い物する組合員へ、商品を手前から消費する「てまえどり」を推奨しています。
- 賞味・消費期限当日まで商品を陳列・販売するコーナーを設けて、食品ロス削減への協力を呼びかけています。
- 自動発注システムを活用した、適正な商品発注を行っています。
- 京都市からの食品ロス削減月間の協力依頼を受けて、2021年度に食品廃棄モニターの登録宣伝に協力し全店で取り組みを行いました。
- 家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、フードバンクを通じて食品を必要とする方々へ提供するフードドライブを実施しています。

## ＜お客様/従業員の反応＞

- 「てまえどり」POPを見て商品を選ばれるなど、食品ロス削減の取り組みに対する組合員からの共感の声をいただいています。
- 10月の食品ロス削減月間に加えて年間を通じた「てまえどり」を実施し、職員の食品ロス削減への意識が高まりました。
- フードドライブ実施店舗（13店舗）の広がりへの期待の声をいただき、2022年度は新たに2店舗でフードドライブを開始し、全18店舗のうち15店舗で実施しています。

【お問い合わせ先】

京都生協 組織運営部(075-672-6304)

# 株式会社フジ・リテイリング(中国四国エリア)



## <店舗で行っている食品ロス削減の取組>

- 「てまえどり」ポスター・POPの掲示
- 消費・賞味期限の近い商品の売り場に「お買物上手コーナー」POPを掲示
- 消費者庁からの販促物の掲示や県からのポスターの掲示
- フードドライブの実施
- 食品の鮮度を保つフレッシュパックの導入
- 店舗から発生した生ゴミからたい肥を作り、提携農家に渡し、できた野菜を販売する食品リサイクルループの実践

## <お客様/従業員の反応>

- てまえどりは取り組みを知ってもらっている段階であり、少しずつ認知度が上がっている状況。
- 企業として食品ロスを削減する取り組みに力を入れているので廃棄を減らす意識は増えている。



[お問い合わせ先]

お客様サービス・品質管理推進室(089-926-2970)





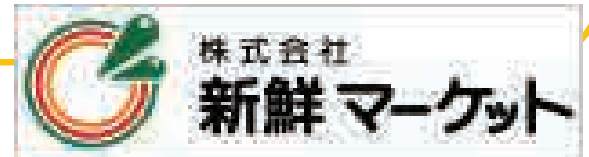
## ＜店舗で行っている食品ロス削減の取組＞

- 特に賞味期限が短い日配商品の陳列棚に「てまえどり」POPを掲示し、お客様にご協力いただいております。
- 「ペットボトル回収」「ローリングストック」及び地元自治体の「3きり運動」と一緒に「てまえどり」ポスターを掲示し、食品ロス削減・リサイクルの呼びかけを行っております。
- 賞味期限が近い商品を販売を行う際は、割引シールを貼り、販売促進し廃棄が出ないように取り組んでおります。
- 定期的に店内マイク放送により、食品ロス削減・リサイクルへの取組をお客様へお知らせしております。

## ＜お客様/従業員の反応＞

- お客様より「ポスター等を見て、すぐ消費する食品は“てまえどり”を行っている」との声をいただいております。
- 従業員の食品ロスに関する関心の向上（商品陳列等の工夫）

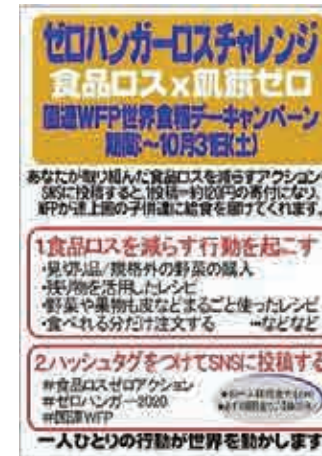
地域のお客様の豊かな食生活と健やかな暮らしに奉仕する



[お問い合わせ先]

管理本部人事総務課(097-578-7891)

# 株式会社丸大(沖縄エリア)



## <店舗で行っている食品ロス削減の取組>

- 食品ロス削減月間のポスター（農林水産省、消費者庁）を掲示。
- 見切り品の売り場にて「あっ〜、MOTTAINAI（もったいない）」POPを掲示。
- 従業員や会員、来店者へフードドライブを呼び掛け、提供された食品は地元社会福祉協議会へ寄附。
- 地元小学校へ食品ロス削減の取り組みに関する出前講座を実施。
- WFPのゼロハンガーチャレンジをSNS等で呼びかけ。

## <お客様/従業員の反応>

- 食品ロス削減の取り組みに関するポスターやPOPを掲示することで、賞味期限の近い商品を選ばれるお客様も増え、また、個人でも行える食品ロス削減の取り組みに関する問い合わせが増えた。
- 地元小学生が買い物する際、「てまえどり」を意識して商品を購入する機会が多くなっている。
- 従業員の食品ロス削減に対する意識が高まり、家庭での食品残さを減らすなど、できることから取り組んでいる。
- お客様が賞味期限が近い商品を使った夕食を楽しんで作っていらっしゃる。

[お問い合わせ先]

株式会社丸大 管理部販売促進担当(098-889-3465)